

たくわ  
蓄え

さいがい そな 災害に備えて しょくりよう たくわ 食料を蓄えておくかどが必要で  
す。  
しょくりよう たくわ どんな食料なら蓄えておけるか かんが 考えたことを、つ  
ぎの空白 か に書いてください。

じゆうぶん いち 十分の一の規定 きてい

きゆうやくせいしよ しゆうかく 旧約聖書には、収穫の十分の一の規定 きてい について

つた きてい 伝えられています。この規定の目的は、常に かみ 神さまを

おそれることを まな 学ぶためにあります。豊かな実り みの をも

たらず土地 どち も、太陽も雨もすべての自然の恵み めぐ は かみ 神さ

まから与えられたことを おも 思い起こし、神さまに感謝 かんしゃ す

る心 こころ をやしなうのです。

さな ひと 捧げられたものはレビ人の生活の維持費のため、又 また

まつ とぎ 祭りの時に奉納者とその家族 かぞく があずかる食事のため、

さらに、寄留者・孤児のために用いられていました。

しんめい ねんめ 申命記では、3年目ごとに町の中に蓄えるように定 さだ

めています。

## たくわ 蓄え

聖書では蓄えることは愚かなことと考えられて

います。しかし、災害に備えて蓄える必要があります。

私たちはどのように考えればよいのでしょうか。

聖書の中の蓄えについて考えるのに大切な個

所はマナの記事です。人々は1日に必要な分を集める

ことができたのです。蓄えを許されたのは安息日の

ためだけでした。

飢饉に備えて食物を蓄えることは、創世記のヨ

セフの記事に見られます。ヨセフのおかげでヤコブた

ちは飢饉の間、エジプトに逃れることができたので

す。しかし、はっきりしていることは、個人のために

余分なものを蓄えるのは愚かだということです。

